
第 51 期

中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

TOPPAN FORMS

多様化する市場ニーズに対応する 新製品開発とコスト構造改革により、 強固な企業体質を構築してまいります。



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、第51期中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)における事業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、好調な輸出に支えられた製造業を中心に回復基調を維持し、雇用環境の改善や個人消費の拡大などもあり、堅調に推移しました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業のシステム統廃合やネットワーク化による需要量の減少と調達手段の変化による価格下落などにより、厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで当社は、紙媒体や電子媒体のさらなる開発改良と、システムや企画分野における独自のソリューション機能の強化につとめ、情報管理の総合的なサービス体制の充実をはかりました。また、顧客志向の姿勢を徹底し、需要創造型の販売活動を推進するとともに、事業全般にわたる効率化・合理化を積極的に推進して企業体質の強化につとめました。

ビジネスフォーム分野では、隠ぺいはがき「POSTEX」の接着強度の安定性を高めて品質の向上をはかりました。また、果実

などの食品にも直接貼付可能な安全性の高いラベルを製品化いたしました。

DPS分野では、画像可変処理やカラー化など市場ニーズに対応した設備の高機能化と、プリント業務の一括アウトソーシング受託にともなう生産体制の強化をはかりました。また、ダイレクトメール市場の拡大に対応するため、定形外郵便物にあたる大型サイズの販促系封書のラインアップを充実し、受託サービス体制の整備につとめました。さらに、「個人情報保護法」の施行にむけ、組織・運用・システム面をより強化するため、社内に専門担当部署を設置いたしました。

電子メディア分野では、録音再生が可能な超薄型の「オーディオペーパー」を製品化し、新たな市場と販路を開拓いたしました。また、ICカードを利用したテーマパークにおける料金後払い精算システムや、マンションセキュリティシステムなど、無線自動認識(RFID)技術を応用したシステム企画を積極的に推進いたしました。

環境問題への対応につきましては、環境マネジメントシステム(EMS)の定着化を推進するとともに、大豆油を溶剤として使用した「大豆油UVプロセスインキ」を採用するなど、エコロジー製品の開発・提供をとおして環境保全に貢献してまいりました。

当社は厳しい経営環境のなかで、提案型営業の徹底とコスト削減に取り組みました。その結果業績につきましては、当中間期の連結売上高は971億円と前年同期に比べ20億円(前期比2.1%)

増加いたしました。経常利益は68億円と8億円(前期比11.4%)減少し、中間純利益は0.5億円(前期比1.3%)減の38億円となりました。

当期の中間配当金につきましては1株につき11円50銭とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、企業業績の改善や個人消費の拡大を背景に持続的な景気の回復基調が見られるものの、原材料価格の高騰や金利の上昇が懸念され、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

ビジネスフォーム業界におきましても、ネットワーク化による電子媒体への需要構造の変化や、競争激化などにより市場環境は引き続き厳しいものと考えられます。

このような状況をふまえ当社は、顧客密着度の強化と新商品開発による市場の創出をはかるとともに、事業構造改革により企業体質を強化し、業績向上につとめてまいります。

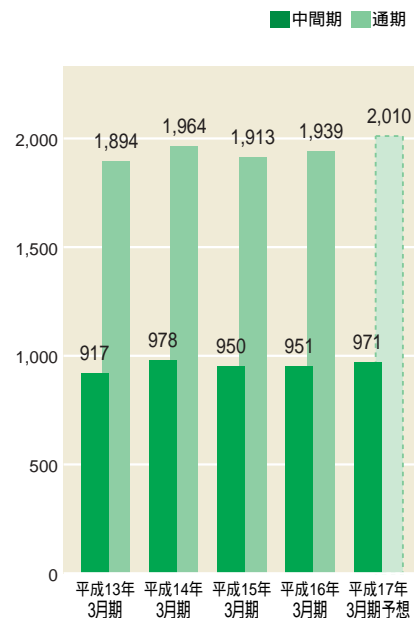
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

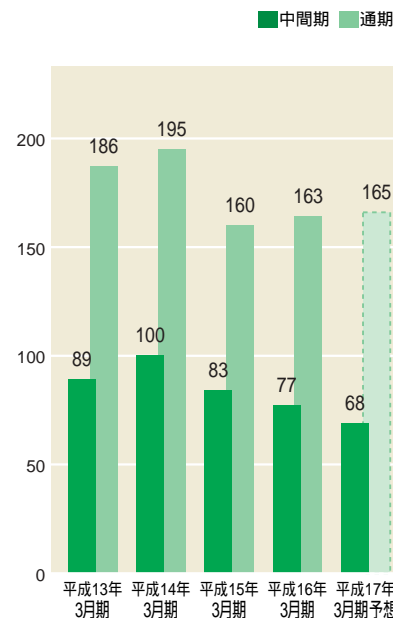
代表取締役社長

秋山正法

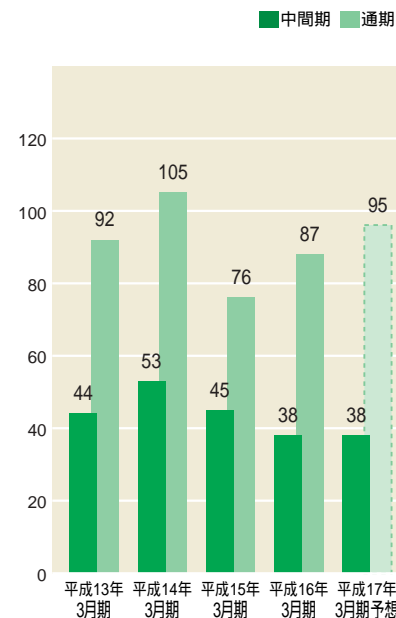
売上高(単位:億円)



経常利益(単位:億円)



当期純利益(単位:億円)



企画提案型営業活動と新市場の創出につとめ増収となりましたが、
需要構造の変化や既存分野の競争激化により減益となりました。

ビジネスフォームおよびデータ・プリント・サービス(DPS)などの紙媒体を核として、先端技術を活用した情報ソリューションサービスや新分野の研究開発を推進し、情報管理の総合的サービス体制の充実につとめました。また、関連グループ各社の総合力を活かして企画提案型の販売活動を展開するとともに、製造システムの効率化やコスト削減をはかりましたが、需要構造の変化による量の減少と価格の下落により厳しい状況が続きました。その結果、当中間期の連結売上高は前年同期に比べ2.1%増の971億円となりましたが、経常利益は11.4%減の68億円、中間純利益は1.3%減の38億円となりました。

印刷事業

売上高758億円(前期比1.5%増)

ビジネスフォームでは、環境面に対応した物流関連フォームや個人情報保護に配慮したラベルなどが増加したものの、企業のシステム統廃合や合理化による需要減退と、競争激化や帳票の簡素化などによる製品価格の下落により、前年を下回りました。

DPSでは、金融機関をはじめとする新規総合通知業務やプリント業務の一括アウトソーシング、1枚ごとに絵柄の異なるパーソナルなダイレクトメールやパンフレットなどの寄与もあり、好調に推移いたしました。

その他事業

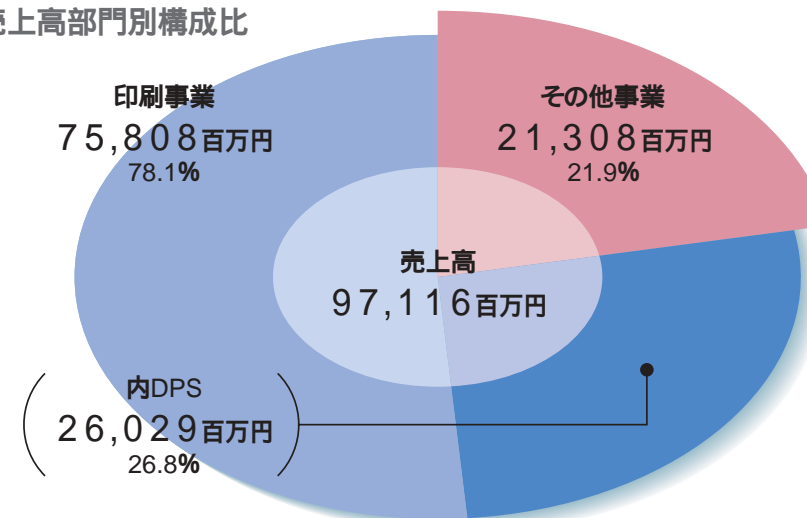
売上高213億円(前期比4.2%増)

事務用サプライ品は、プリンター周辺の消耗品や文具など取扱品種の拡充と、ウェブ活用による販路拡大により、順調に推移いたしました。

また、事務機器関連等につきましても、景気回復にともなう設備投資の増加により順調に推移いたしました。

以上の結果、その他事業全体では順調に推移いたしました。

売上高部門別構成比



中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

| 資産の部 | 当中間期 | 前中間期 | 負債の部 | 当中間期 | 前中間期 |
|-----------|--------------|--------------|-----------------|---------|---------|
| | 平成16年9月30日現在 | 平成15年9月30日現在 | | 当中間期 | 前中間期 |
| 流動資産 | 81,796 | 74,396 | 流動負債 | 47,751 | 47,351 |
| 現金及び預金 | 23,353 | 16,850 | 支払手形及び買掛金 | 30,858 | 30,232 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,039 | 36,256 | 短期借入金 | 1,739 | 883 |
| 有価証券 | 3,440 | 3,020 | 未払法人税等 | 3,345 | 3,580 |
| たな卸資産 | 12,886 | 13,098 | 未払消費税等 | 641 | 281 |
| 前払費用 | 1,608 | 1,457 | 未払費用 | 3,162 | 2,949 |
| 繰延税金資産 | 2,049 | 2,007 | 賞与引当金 | 3,886 | 3,934 |
| その他 | 1,621 | 1,957 | 設備関係支払手形 | 1,581 | 2,922 |
| 貸倒引当金 | 201 | 250 | その他 | 2,534 | 2,567 |
| 固定資産 | 79,125 | 79,815 | 固定負債 | 3,027 | 2,703 |
| 有形固定資産 | 57,872 | 58,239 | 長期借入金 | 22 | 395 |
| 建物及び構築物 | 24,425 | 25,480 | 繰延税金負債 | 206 | 152 |
| 機械装置及び運搬具 | 12,820 | 13,032 | 退職給付引当金 | 2,312 | 1,579 |
| 工具器具備品 | 1,578 | 1,637 | 役員退職慰労引当金 | 387 | 472 |
| 土地 | 18,160 | 17,582 | その他 | 99 | 103 |
| 建設仮勘定 | 887 | 506 | 負債合計 | 50,779 | 50,055 |
| 無形固定資産 | 1,379 | 1,441 | 少数株主持分 | 107 | 350 |
| 借地権その他 | 1,379 | 1,441 | 資本の部 | | |
| 投資その他の資産 | 19,760 | 20,134 | 資本金 | 11,750 | 11,750 |
| 投資有価証券 | 11,287 | 10,744 | 資本剰余金 | 9,270 | 9,270 |
| 長期貸付金 | 4 | 10 | 利益剰余金 | 89,401 | 83,454 |
| 長期前払費用 | 129 | 119 | その他有価証券評価差額金 | 1,836 | 1,333 |
| 敷金・保証金 | 2,150 | 2,387 | 為替換算調整勘定 | 728 | 614 |
| 保険積立金 | 4,121 | 4,330 | 自己株式 | 1,606 | 1,386 |
| 繰延税金資産 | 914 | 1,579 | 資本合計 | 109,922 | 103,806 |
| その他 | 1,214 | 1,101 | | | |
| 貸倒引当金 | 62 | 138 | | | |
| 資産合計 | 160,809 | 154,212 | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 160,809 | 154,212 |

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

| | 当中間期 | 前中間期 |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| | 平成16年4月1日～平成16年9月30日 | 平成15年4月1日～平成15年9月30日 |
| 売上高 | 97,116 | 95,102 |
| 売上原価 | 73,491 | 71,014 |
| 売上総利益 | 23,625 | 24,088 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,214 | 16,680 |
| 営業利益 | 6,411 | 7,407 |
| 営業外収益 | 509 | 462 |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 90 | 80 |
| 積立保険返戻金 | 11 | 11 |
| 持分法による投資利益 | 27 | 31 |
| 特許料収入 | 236 | 251 |
| その他 | 142 | 84 |
| 営業外費用 | 63 | 128 |
| 支払利息 | 15 | 29 |
| 貸倒引当金繰入額 | 5 | 34 |
| 為替差損 | 2 | 40 |
| 事故関係費 | 27 | - |
| その他 | 11 | 23 |
| 経常利益 | 6,857 | 7,741 |
| 特別利益 | 46 | 12 |
| 固定資産売却益 | 27 | 12 |
| 投資有価証券売却益 | 13 | - |
| その他 | 4 | - |
| 特別損失 | 174 | 608 |
| 固定資産除却損 | 70 | 152 |
| 投資有価証券評価損 | 51 | 1 |
| 会員権評価損 | 41 | 2 |
| 事業拠点統合費用 | - | 446 |
| その他 | 10 | 5 |
| 税金等調整前中間 当期 純利益 | 6,729 | 7,145 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,292 | 3,859 |
| 法人税等調整額 | 383 | 548 |
| 少数株主損失(利益) | 1 | 34 |
| 中間 当期 純利益 | 3,818 | 3,869 |

中間連結キャッシュフロー計算書 (単位:百万円)

| | 当中間期 | 前中間期 |
|------------------------|----------------------|----------------------|
| | 平成16年4月1日～平成16年9月30日 | 平成15年4月1日～平成15年9月30日 |
| 営業活動 | 5,430 | 4,340 |
| 税金等調整前中間 当期 純利益 | 6,729 | 7,145 |
| 減価償却費 | 2,392 | 2,409 |
| 法人税等の支払額 | 3,373 | 3,693 |
| その他 | 318 | 1,520 |
| 投資活動 | 1,613 | 2,628 |
| 有形固定資産取得による支出 | 1,948 | 3,967 |
| その他 | 334 | 1,338 |
| 財務活動 | 932 | 1,780 |
| 配当金支払額 | 1,313 | 1,316 |
| その他 | 381 | 464 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増加額(減少額) | 2,885 | 69 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,908 | 19,836 |
| 連結会社増加による現金及び現金同等物の増加額 | - | 4 |
| 現金及び現金同等物の中間期末 期末 残高 | 26,793 | 19,770 |

主な子会社

- 浜松トッパン・フォームズ(株) ビジネスフォームの製造
- トッパン・フォームズ・オペレーション(株) プログラミングおよびオペレーションの受託
- トッパン・フォームプロセズ(株) フォーム処理の受託サービス
- テクノ・トッパン・フォームズ(株) コンピュータおよび関連機器の保守サービス
- トッパン・フォームズ・サービス(株) 運送取扱業および倉庫業
- T.F.カンパニー社 海外事業に対する投資および育成
- トッパン・フォームズ(香港)社 ビジネスフォームの製造および販売

連結対象子会社は上記7社を含む19社、持分法適用関連会社は8社となっております。

(注)一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費

808百万円

1,085百万円

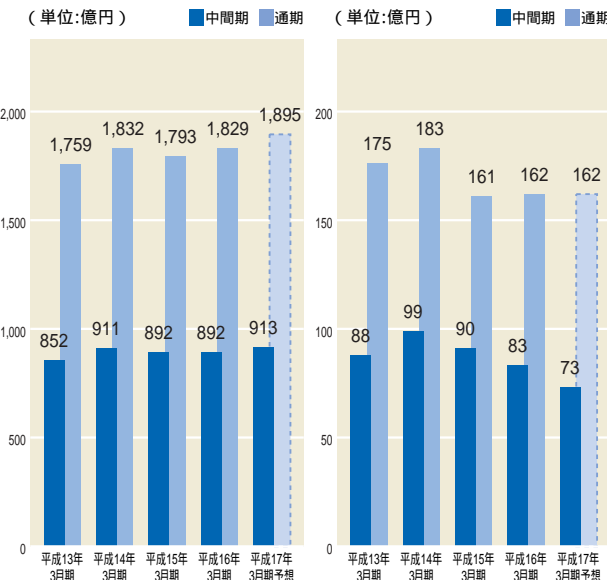
中間貸借対照表 (単位:百万円)

| 資産の部 | 当中間期 | 前中間期 | 負債の部 | 当中間期 | 前中間期 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 平成16年9月30日現在 | 平成15年9月30日現在 | | 当中間期 | 前中間期 |
| 流動資産 | 75,156 | 68,139 | 流動負債 | 42,188 | 43,088 |
| 現金及び預金 | 21,710 | 15,254 | 支払手形 | 8,239 | 10,581 |
| 受取手形 | 5,495 | 6,777 | 買掛金 | 23,821 | 21,048 |
| 売掛金 | 29,617 | 27,337 | 未払法人税等 | 2,803 | 2,994 |
| 有価証券 | 3,440 | 3,020 | 未払費用 | 2,077 | 2,026 |
| たな卸資産 | 10,815 | 11,098 | 賞与引当金 | 2,163 | 2,189 |
| 繰延税金資産 | 1,196 | 1,220 | その他 | 3,082 | 4,248 |
| その他 | 2,980 | 3,536 | 固定負債 | 1,124 | 739 |
| 貸倒引当金 | 99 | 105 | 役員退職慰労引当金 | 282 | 388 |
| | | | 退職給付引当金 | 841 | 351 |
| 固定資産 | 76,703 | 77,445 | 負債合計 | 43,312 | 43,828 |
| 有形固定資産 | 55,598 | 55,565 | 資本の部 | | |
| 建物 | 22,720 | 23,480 | 資本金 | 11,750 | 11,750 |
| 機械及び装置 | 12,078 | 12,171 | 資本剰余金 | 9,270 | 9,270 |
| 土地 | 18,103 | 17,518 | 資本準備金 | 9,270 | 9,270 |
| 建設仮勘定 | 880 | 502 | 利益剰余金 | 87,300 | 80,788 |
| その他 | 1,816 | 1,891 | 利益準備金 | 2,619 | 2,619 |
| 無形固定資産 | 1,326 | 1,396 | 任意積立金 | 78,195 | 71,695 |
| 投資その他の資産 | 19,777 | 20,483 | 中間(当期)未処分利益 | 6,485 | 6,473 |
| 投資有価証券 | 10,555 | 10,054 | 其他有価証券評価差額金 | 1,833 | 1,334 |
| 繰延税金資産 | 70 | 1,050 | 自己株式 | 1,606 | 1,386 |
| その他 | 9,213 | 9,515 | 資本合計 | 108,547 | 101,756 |
| 貸倒引当金 | 62 | 138 | | | |
| 資産合計 | 151,859 | 145,584 | 負債・資本合計 | 151,859 | 145,584 |

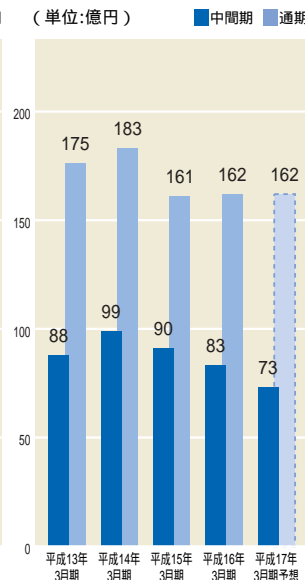
中間損益計算書 (単位:百万円)

| 経常損益の部 | 当中間期 | 前中間期 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| | 平成16年4月1日～平成16年9月30日 | 平成15年4月1日～平成15年9月30日 |
| 売上高 | 91,381 | 89,241 |
| 売上原価 | 69,563 | 66,897 |
| 売上総利益 | 21,817 | 22,344 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,212 | 15,759 |
| 営業利益 | 5,604 | 6,585 |
| 営業外収益 | 2,570 | 2,649 |
| 受取利息 | 3 | 6 |
| 受取配当金 | 1,327 | 1,466 |
| 設備貸料 | 887 | 849 |
| 特許料収入 | 236 | 251 |
| その他 | 115 | 74 |
| 営業外費用 | 862 | 923 |
| 貸貸費用 | 815 | 787 |
| その他 | 46 | 136 |
| 経常利益 | 7,312 | 8,310 |
| 特別損益の部 | | |
| 特別利益 | 10 | 0 |
| 特別損失 | 167 | 561 |
| 固定資産除却損 | 64 | 138 |
| 投資有価証券評価損 | 51 | 1 |
| 会員権評価損 | 41 | - |
| 事業拠点統合費用 | - | 413 |
| その他 | 10 | 7 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 7,155 | 7,750 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,770 | 3,270 |
| 法人税等調整額 | 220 | 349 |
| 中間(当期)純利益 | 4,605 | 4,830 |
| 前期繰越利益 | 1,894 | 1,643 |
| 自己株式処分差益 | 14 | - |
| 中間(当期)未処分利益 | 6,485 | 6,473 |

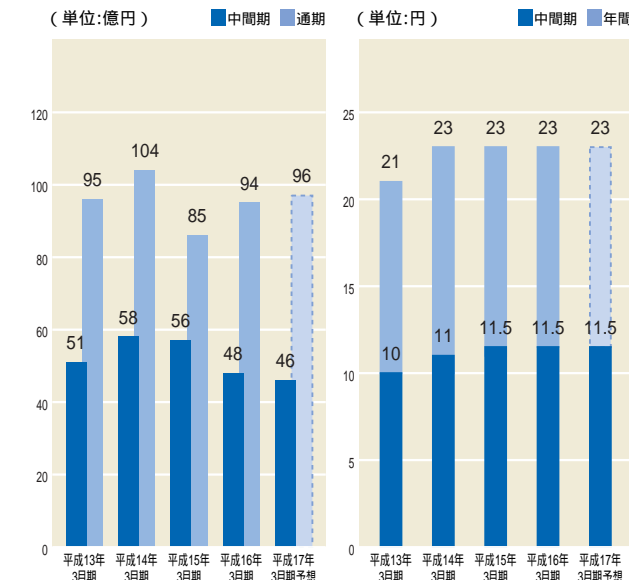
売上高



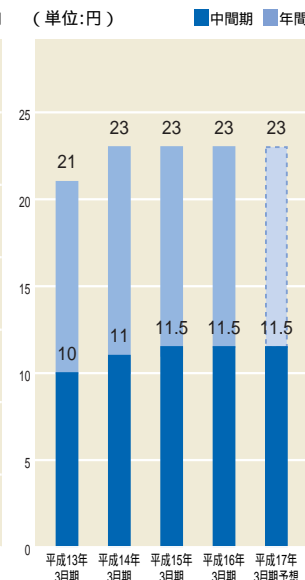
経常利益



当期純利益



一株当り配当金



(注)一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費

808百万円

1,085百万円

「しゃべる紙」登場

「しゃべる紙」をコンセプトにした厚さ0.75mmの超薄型の音声録音再生ペーパー「オーディオペーパー」を開発いたしました。有害物質を一切使わず、発火・発熱の恐れがない薄型電池の採用で環境面・安全面への配慮も万全です。また、紙のような柔軟さがあり、折っても曲げても壊れない優れた耐久性を持ち、郵便物として郵便区分機に直接かけられそのまま郵送できます。録音再生型と再生専用型の2種類を用意いたしました。



定形外の販促系封書 ラインアップ充実

市場ではA4サイズなど定形外の大型封書の利用が増加しています。サイズが大きく、形状の自由度が高いことから、封筒の開封率やレスポンス率の向上など販促効果を高め、より多くの情報量を提供できるメリットがあります。当社は、チラシを巻くように折り畳んでそのまま封書にした形態、大判のチラシを十字に折り畳んでA4サイズの封書にした形態、開封すると冊子になる形態など、ラインアップを充実させると同時に、これらの受託体制も整備いたしました。



「POSTEX」の品質を全面的に向上

隠ぺいしがき「POSTEX」を開発改良し、接着強度の安定性を高めて品質向上をはかりました。さらに、連続タイプの「POSTEX」に耐水再生紙を使用し標準品としてラインナップいたしました。原紙に耐水再生パルプを使用しており、古紙として再生でき、水に濡れても剥離時に破れない耐水性を両立させた製品となっています。



電子メールセキュリティのサーバソフトウェアを販売開始

当社は米国タンブルウィード社と提携し、eメールファイアウォール、セキュアeメールに新製品であるスパムフィルタを組み合わせ、企業内からの情報漏えいを未然に防ぐeメールセキュリティのトータルソフトウェア『MMP』(メール・マネジメント・パッケージ)を新発売いたしました。『MMP』は、迷惑メール(スパムメール)の自動検知・排除や電子メールの暗号化・署名、フィルタリング、アーカイブ、ウイルスチェック等、電子メールのセキュリティとして欠かせない機能を一つのサーバソフトウェアで実現いたします。



会社概要

平成16年9月30日現在

商号 トッパン・フォームズ株式会社
 英文名 TOPPAN FORMS CO.,LTD.
 本店所在地 東京都港区東新橋一丁目7番3号
 電話 (03)6253-6000(ダイヤルイン案内)
 設立 昭和30年5月2日
 資本金 117億5000万円
 発行済株式総数 115,000,000株
 従業員数 2,623名

大株主

平成16年9月30日現在

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|--------------------------------------|----------|----------|
| | 持株数(千株) | 議決権比率(%) |
| 凸版印刷株式会社 | 67,419 | 59.1 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 5,577 | 4.9 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 4,365 | 3.8 |
| 野村信託銀行株式会社 | 3,042 | 2.7 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 2,878 | 2.5 |
| トッパンフォームズグループ従業員持株会 | 1,709 | 1.5 |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 1,605 | 1.4 |
| ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン | 1,257 | 1.1 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505103 | 1,223 | 1.1 |
| モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド | 979 | 0.9 |

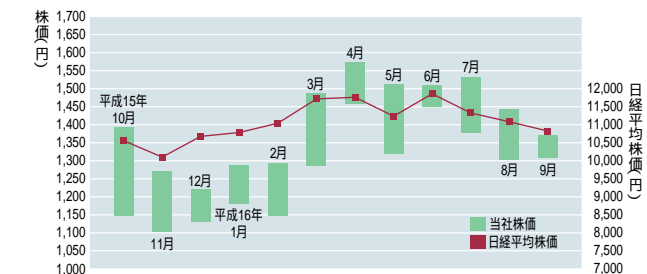
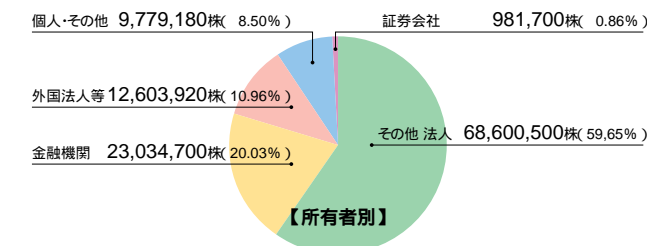
役員

平成16年9月30日現在

代表取締役会長 福田 泰弘 取締役 岡田 弘人
 代表取締役社長 秋山 正法 取締役 松本 賢次郎
 取締役副社長 大内 隆二 取締役 新田 健二
 専務取締役 小山内 鏗爾 取締役 大坪 尚義
 専務取締役 杉 丈夫 取締役 宇高 恵一
 常務取締役 加藤 計夫 常任監査役(常勤) 山本 龍雄
 常務取締役 河野 通剛 監査役(常勤) 寺田 幸夫
 取締役 足立 直樹 監査役 佐久間 国雄
 取締役 元原 利文 監査役 外山 孟

株式分布状況・株価の推移

平成16年9月30日現在



(東京証券取引所)

株主メモ

| | |
|---------|---------------------------|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会・利益配当金 3月31日 |
| | 中間配当を行う場合 9月30日 |
| | その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ(<http://www.toppa-f.co.jp/>)に掲載しております。

- 株式名義書換
1. 名義書換代理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社
 2. 同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
【連絡先】 〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
電話(0120)707-696(フリーダイヤル)

下記の用紙をご請求される方へ
名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490をご利用ください。
24時間承っております。
* 住所変更用紙 * 単元未満株式買取請求書用紙
* 単元未満株式買増請求書用紙 * 相続手続依頼書用紙
* 配当金振込指定書用紙(銀行・郵便局)

3. 同取次所
三菱信託銀行株式会社 全国各支店

1単元の株式の数 100株
上場証券取引所 東京



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<http://www.toppa-f.co.jp/>